

授業等で配慮したい人権尊重の視点 チェックリスト

※「授業チェックシート27」と併用してチェックを行ってください。

例 ○：十分行っている △：意識して行ってきたい

	項目	1月	2月	3月
呼名・指名等	日付順や席順、番号順、くじ引きなど物理的条件で指名していない。			
	合理的配慮の視点をふまえたグループ決めや席替えをしている。 (心理的・身体的)			
	教師や児童は、全員「～さん」付けで呼名している。			
発言・傾聴	授業の中で「分からない」と言える雰囲気がある。			
	疑問に思うことをすぐに尋ねられる場・機会がある。			
	多様な意見が出されるような授業を展開し、異なる考えをもっていたり、違和感をもっていたりする児童を見落としていない。			
	児童はみんなの方を向いて、分かりやすい話し方で発表している。 「やさしい話し方」			
	児童は発表者の方を見て反応しながら最後まで聴いている。 「あたたかい聴き方」			
	他者の発言の良さに気付き、学ぼうとする雰囲気がある。			
ペア・グループ活動	ペア活動やグループ活動を行う際、全員が活動に参加できているか観察し、適切な支援を行っている。			
	つまずいている友達に対して、教え合いや励ましなど、温かい雰囲気がある。			
机間指導	座席表等に個人指導の記録をとり、偏った机間指導がないようにしている。			
	できない・やらない理由を丁寧に聞き出し、個に応じた改善課題や改善方法を示している。			
学力向上改善プラン	児童全員が自己選択、自己決定するなど、主体的に活動できる場面が設けられている。			
	振り返りでは、「できた」「わかった」という学習の達成感を自覚させている。			
環境整備	学年などで授業の手法や提出物の見方などを一致させている。			
	児童の作文や作品に、誤字・脱字がないか確かめてから掲示している。			